

子どもの貧困克服のための自治体施策

日時 2012年2月17日(金) 18:00~21:00 (開場17:40)

会場 東洋大学 浦水会館 4階・401~402会議室

都営三田線白山駅から徒歩5分 または 東京メトロ南北線本駒込駅から徒歩8分

■資料代 1000円 (学生無料・18歳以下無料)

私たち、子どもの権利条例東京市民フォーラムは、「子どもの権利条例を東京に、自治体につくろう」「子ども固有の相談救済のしくみをつくろう」と、2003年には東京都に条例案を提案し、その実現をめざしてきました。

現在の状況は、今回検討する「子どもの貧困」問題をはじめ、子ども虐待・体罰・発達障がい・ひきこもり、あるいは不登校問題、友達やおとなとの関係に課題をかかえる子どもなどが増えているにも関わらず、条例化は一向に進みません。問題を抱え、自分一人で解決できない子どもの場合には、まず誰かに相談し、SOSが出せることが重要なのですが、子どもの場合には、たんに相談場所を作ったり、相談者を配置するだけでは相談につながらないという固有性がわかってきました。そうしたことから、市民や実践現場では、子どもが安心できる居場所と関係を作りだすことに取り組んできましたが、子どもの暮らしを支える視点に立つと、そうした教育や福祉、医療など個別分野での支援の拡大とともに、総合的な救済・回復のしくみが求められています。

今回みなさんと検討したい「子どもの貧困」問題は、日本の長引く景気低迷と貧困層の拡大、生活保護受給世帯、要支援家庭の増加などが子どもの生活面にも大きな影響を与えている問題だけでなく、子どもの学習面、人間的な成長の有り様としても切実な問題となっていることです。健康保険証がないために病院に行けない子ども、給食費が払えない、修学旅行に行けない、十分な教育を受ける機会を奪われている子どもなど、貧困が子どもたちにしわ寄せされている現実をいかに克服するか。さらに、追い打ちをかけるように発生した東日本大震災、続く原子力発電所事故が日本社会に与えたダメージははかり知れず、子どもや子育て家庭が抱える困難はピークに達しています。

次代を担う子どもたちが、健康で豊かな子ども時代を過ごし、成長していける——そんな地域社会、市民社会の実現をめざして、一人一人が考え、行動し、ネットワークするときに来ている。

こうした中、一方で、子どもの学びや暮らしを支えようと、地域の市民や自治体の実践現場での活動が具体化していることは、大きな希望です。第11回を迎える「子どもの権利条例東京市民フォーラムのつどい」では、「子どもの貧困克服のための自治体施策」と題して、具体的な実践事例を報告していただき、その成果と課題、施策化への展望などを考えます。親の生活状況にかかわらず、子どもが貧困にならないための政策を実行し、子どもを貧困から救うための大きな一歩を踏み出す機会としたいと願っています。おおぜいの皆さんの参加を期待します。

2012年1月

子どもの権利条例東京市民フォーラム代表 喜多明人

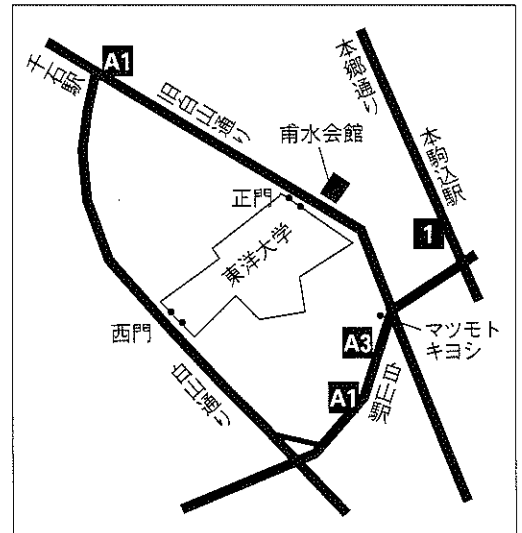
<呼びかけ人>

喜多明人(子どもの権利条例東京市民フォーラム代表/早稲田大学/国連NGO子どもの権利条約総合研究所)

森田明美(子どもの権利条例東京市民フォーラム事務局長/東洋大学/NPO法人こども福祉研究所)

<以下運営委員:順不同> 荒牧重人(子どもの権利条約ネットワーク/山梨学院大学) 味岡尚子(全国PTA問題研究会/子どもと法21)

天野秀昭(NPO法人プレーパークせたがや) 一場順子(東京弁護士会) 井上仁(子どもの人権連/日本大学) 池座俊子(東京・生活者ネットワーク) 大河内秀人(江戸川子どもおんぶず) 奥地圭子(NPO法人東京シューレ) 久保田邦子(めぐろ・チャイルドライン) 桑原由貴子(豊島区児童福祉計画研究会OPEN SESAME!) 池口葉子(NPO法人アビリティクラブたすけあい) 奥田雅子(生活クラブ生協) 平清太郎(子ども人権サポーター) 坪井節子(社会福祉法人カリヨン子どもセンター/東京弁護士会) 広岡智子(社会福祉法人子どもの虐待防止センター) 前田信一(社会福祉法人カリヨン子どもセンター/NPO法人こども福祉研究所/こども教育宝仙大学) 保坂弘子(東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合) 青木由美子(発達障がい児の親を支える会)



お申し込み
お問い合わせ

子どもの権利条例東京市民フォーラム事務局

TEL 03-3200-9115 (市民活動共同事務所内)

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学 社会学部 森田研究室気付

▶プログラム裏面

子どもの貧困克服のための自治体施策

2012年2月17日(金) 18:00～21:00 (開場17:40) 東洋大学浦水会館 4階・401～402会議室

プログラム

コーディネーター：荒牧重人さん(山梨学院大学教授)

《開会》 18:00～18:30

挨拶：喜多明人さん(子どもの権利条例東京市民フォーラム代表/早稲田大学教授)

■基調報告「子どもの貧困と自治体支援の方法」：森田明美さん(東洋大学教授)

《自治体の取り組み報告》 18:30～20:00 (30分×3テーマ)

■学校を通じた子ども・保護者支援の取り組み
—スクールソーシャルワーク制度の導入と可能性

堀井雅道さん(立正大学・東洋大学非常勤講師)

……文科省が2008年度に活用事業としてすすめ、自治体における導入が拡がりつつあるスクール・ソーシャルワーク制度の取り組みとその可能性について、2009年に実施したSSWの全国調査を踏まえ、設置状況、虐待や不登校問題など設置理由などの報告を受けます。

■生活保護受給世帯の子どもの育成支援

小澤篤子さん(八王子市生活福祉課)

……八王子市は、生活保護受給世帯の子どもの健全育成事業として集団での学習支援を展開しています。また、今年度からはケースワーカーとともに、中学2年3年生の子どもたちの戸別訪問を行い、自立のための相談支援に取り組もうとしています。貧困の連鎖を断ち切るために試みられている直接的な子ども支援のしくみと実際について報告を受けます。

■ひとり親家庭支援の推進—世田谷区

片岡敏江さん(世田谷区子ども家庭支援課)

……2003年、東京の自治体で初の「子ども条例」を策定した世田谷区から、子ども条例と条例を具体化した子ども計画、ひとり親調査などを経てひとり親施策をどのように展開しようとしているのか報告していただきます。

《休憩 20:00～20:10》

《コメント・意見交換》 20:10～21:00

……実践報告とコメントを受けて、子どもの貧困克服のための施策化について展望します。庁内組織はどのようにつくるか、教育委員会はどのように関わるか、市民力をどのように生かすか、子どもの声をどのように反映させるか——などについて、報告者、会場発言も交えて議論を進めます。

お申し込み
お問い合わせ

子どもの権利条例東京市民フォーラム事務局
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学社会学部 森田研究室気付
TEL03-3200-9115 (市民活動共同事務所内)